

# 日本選手権混成・U20 日本選手権混成 競技注意事項

## 1. 競技規則について

本大会は、2021 年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項および日本陸上競技連盟の陸上競技活動再開についてのガイダンス【第3版】競技会再開について（2021年1月15日）に基づいて実施する。なお、新型コロナウイルス感染症対策については別途案内する。

## 2. 練習場及び練習について

- 大会当日のトラック競技・フィールド競技の練習は本競技場で行うが周囲に十分注意して行うこと。競技開始後は、ハードル種目のみ監督・コーチが招集完了時刻までトラック内で指導できるものとする。なお、雷管を使用したスタート練習は禁止する。
- 本競技場でのフィールド種目の練習は、競技開始30分前から（棒高跳は60分前から）行うことができる。ただし、競技役員の指示に従うこと。
- 大会前日の本競技場での練習は、大会要項に記載のとおりとする。また、補助競技場および投擲練習場は前日及び当日も使用できるが、指導者の監督の下、競技役員の指示に従い安全に配慮して実施すること。

## 3. 競技用靴について（TR5.2～6を参照）

- スパイクピンは11本以内とし、長さは9mm以内、走高跳・やり投は12mm以内とする。靴底の厚さは、800m未満の種目は20mm、800m以上の種目は25mmまでとする。また、フィールド種目の厚さは20mmまでとする。
- 競技に使用する靴の確認については、事前申請を行うことにより簡略化する。「競技用シューズ申告書」に必要事項を記入し、競技者受付の際に提出すること。なお、事前申請を行わない競技者やWA承認靴以外の靴を使用する競技者については、各種目の招集・集合時に靴底計測等のチェックを行う。また、申請した靴以外のものを使用する場合は、競技開始前に審判長に申し出ること。

## 4. 競技者の招集方法について

- 招集は、両日の第1種目のみ下記に示す時刻のとおり行う。以後の種目についても、下記の集合時刻までに集合すること。場所は招集、集合ともに混成控室前とする。なお、同時にアスリートビブス、スパイク（シューズ）、バッグの中身、衣類の商標の確認と点検を受けること。

種目	招集及び集合開始時刻	招集及び集合完了時刻
トラック競技	競技開始予定時刻の30分前	同20分前
フィールド競技	競技開始予定時刻の40分前	同30分前

競技者は、ビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持または使用することはできない。（TR6.3.2）

- 次種目から欠場する場合は、混成競技審判長に申し出ること。その後、欠場届を本競技場玄関ホールに設ける「TIC」に提出すること。
- 招集完了時刻に遅れた場合は、当該種目を欠場するものとして処理する。この場合は、次の種目からの出場はできないものとする。

## 5. アスリートビブスについて（TR5.7～10を厳守）

- アスリートビブスは、3枚（胸・背・手荷物用）配付する。
- すべての競技者は、ユニフォームの胸・背に折らずにつけること。ただし、跳躍競技は胸・背いずれかにつけるだけでよい。
- トラック種目では、配付した腰ナンバー標識を右腰に確実につけること。

## 6. 競技について

- トラック競技のレーン順は、プログラム記載順による。
- トラック種目においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者は失格となる。
- ハードルの高さとして種目の重さについては以下のとおりである。

### 【日本選手権】

ハードル種目の高さ	男子	110mH	1.067m
	女子	100mH	0.838m
投てき種目の重さ	男子	砲丸投	7.260kg 円盤投 2.000kg やり投 800g
	女子	砲丸投	4.000kg やり投 600g

### 【U20 日本選手権】

ハードル種目の高さ	男子	110mH	0.991m
	女子	100mH	0.838m
投てき種目の重さ	男子	砲丸投	6.000kg 円盤投 1.750kg やり投 800g
	女子	砲丸投	4.000kg やり投 600g

- 欠場する者は、本大会規定の欠場届（日本陸連ホームページ大会情報本大会要項）に必要事項を記入し大会前日までに大会事務局へFAX（020-4664-1771）すること。大会開催中は「TIC」に提出のこと。

## 7. 競技方法について

- U20 女子以外の砲丸投は、A、Bの2つのピットで実施する。組分けと試技順はプログラム記載の順番とする。
- 走高跳および棒高跳は、A、Bの2つのピットで実施する。組分けは競技者の申請により決定し、試技順はプログラム記載の順番を原則とする。競技者は、走高跳は1日目、棒高跳は2日目の最初の招集時に、希望する最初の高さを申請すること。
- 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は以下のとおりとする。

## 【日本選手権】

種目	練習	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	以降
男子走高跳	任意の高さ	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m88	1m91	3cm ずつ上げる
女子走高跳	任意の高さ	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	3cm ずつ上げる
男子棒高跳	任意の高さ	3m20	3m40	3m60	3m80	4m00	4m10	4m20	10cm ずつ上げる

## 【U20 日本選手権】

種目	練習	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	以降
男子走高跳	任意の高さ	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m88	1m91	3cm ずつ上げる
女子走高跳	任意の高さ	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	3cm ずつ上げる
男子棒高跳	任意の高さ	2m60	2m80	3m00	3m20	3m40	3m50	3m60	10cm ずつ上げる

- (4) 日本選手権と U20 日本選手権十種のやり投の開始時刻は競技日程を基本とするが、棒高跳が終了した競技者でグループ編成し、時間差をつけて開始する場合がある。開始時刻は、各競技者の棒高跳終了時に連絡する。
- (5) 100m、100mH、110mHについては、競技開始 30 分前までに使用する走路（メイン・バック）を発表する。
- (6) 十種競技の最終種目 1500m は、9 種目の合計得点順にレーン内側から整列する。腰ナンバー標識も得点順に 1 からとする。アスリートビブスは付け替えず、そのまま利用する。
- (7) 七種競技の最終種目 800m の組分けとレーンについては、6 種目合計得点の高いグループを最終組とし、得点順に 1 レーンから割り当てる。腰ナンバー標識はレーンナンバーと同じ数字をつける。アスリートビブスは付け替えず、そのまま利用する。

## 8. 競技用器具について

- (1) 競技に使用する用器具は棒高跳用ポールを除き、全て主催者が用意したものを使用しなければならない。
- (2) 投てき用具については、公表された競技場備え付け用具リストにないものは、持ち込みを認める。持ち込み希望者は、当該種目の競技開始 60 分前までに 100m スタート側器具庫前で検査を受けること。ただし、検査に合格した用具は一括借り上げとし、参加競技者で共有できるものとし、競技終了後に担当総務員がフィニッシュ側器具庫内で返却する。競技中に破損が生じて主催者は一切の責任を負わない。
- (3) フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したものを 2 個まで、サークルからの投てき種目では 1 個置くことができる。個人の所有物は使用できない。

## 9. 競技場への入退場について

招集所からの競技場への入場および競技終了後の退場は、競技役員の指示による。

## 10. 表彰について

- (1) 1 位～8 位の競技者の表彰は、上下ウェア（暑いときは T シャツでも可能）を着用の上、正面スタンド前で行う。競技終了後に競技役員が誘導する。なお、アスリートビブスはウェアに付け替えること。
- (2) 1 位の競技者にはカップ、賞状とメダル、2 位、3 位の競技者には賞状とメダル、4 位～8 位までの競技者には賞状を授与する。
- (3) 各種目の 1 位の競技者には、各種目終了直後に各種目の競技場所付近に設置されるインタビューボード前で記念品の贈呈を行う。

## 11. 更衣室及び選手控え所について

- (1) 競技者控え室は、本競技場 1 階トレーニングルームに用意し、競技者以外の立ち入りはできない。競技場 1 階トレーナーエリアへの立ち入りは顔写真付きトレーナー AD を所持している者のみとする。AD カードは、出場競技者 1 人に 2 枚を配付するが、3 名以上の出場者がいるチームでも、原則として最高 5 枚までとする。コーチング活動は助力とみなす。トレーナー AD が必要な場合は事前に申請すること。
- (2) 更衣室横のシャワー室は、混成競技係に申し出て使用すること。ただし、1 日目競技終了後の使用は禁止する。更衣後の荷物は各自で管理すること。
- (3) 貴重品は各自で保管すること。万一の事故があっても主催者は責任を負わない。また、ごみの後始末は各自で行うこと。

## 12. ドーピング・コントロールテストについて（大会要項のとおりである）

## 13. 練習会場と日程（大会要項のとおりである）

## 14. 一般注意事項

- (1) 競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ等に表示されている商標は、「競技会における広告及び展示物に関する規程」に示すサイズを超えてはならない。これに違反したものについては、違反している個所にマスキングテープ等を貼り処置する。
- (2) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡する。
- (3) 競技場での疾病・傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。医務室は本競技場 1 階に設置する。
- (4) 届けられた遺失物については大会本部で保管する。保管期間は 6 月 13 日競技終了までとする。
- (5) 記録はその都度発表するが掲示はしない。大会ホームページに随時アップする。
- (6) 「記録証明書」を希望する競技者は、「T I C」に 500 円を添えて申し込むこと。
- (7) スタンドを含む競技場内への応援用のぼり・旗等の掲出、展示は「競技会における広告および展示物に関する規程」に基づく。

## 15. その他

- (1) プログラムに誤記がある場合には、第 1 日 9 時まで、「T I C」へ申し出ること。
- (2) ポールの輸送を希望する者は、各自で配送を事前手配したうえで「T I C」に申し出ること。